

## 自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

## グループホーム幸ちゃんの家2号館

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入社する際に、理念について、説明し、スタッフ入り口にも掲示している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	担当者会議の際に、他事業所や、家族、近所の人からの意見をいただき、参考にしている。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議では、特に、事故報告が、サービスの向上につながっている。 自施設のできていない部分や、分析をする機会となり向上につながっている。			
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	困難事例の時に、動いてくださっている。特に、金銭問題では、担当者会議などに出て、いただき、養護老人ホームとのつながりを作ってくださった。			
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人研修や、会議の時に年2回の計画で、身体拘束についての研修を行っており、5月、11月にすでに終了している。また、玄関に鍵がかかっているときには、会議の際、状況を確認し、改善するようにしている。 毎月行われる代表者が参加する部会でも、身体拘束の有無について必ず問われており、意識している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	マニュアルもあり、講習も行われているのであれば、十分にできていると判断してよい。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は、認知症指導者として活動する中で、高齢者虐待防止関連法について、説明する機会を持っており、勉強できている。また、職員には、その内容を会議の際に伝えたり、研修内で伝えることで、理解することができている。また、内出血があった場合は、十分に検証を行い、虐待の怒りにくい土壌を作っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族への説明、外国人スタッフへの理解も含め、よく研修ができていると思われる。

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	E ラーニングで、権利擁護について、勉強しているが、スタッフ全員が、理解しているわけではない。しかし、会議の際に、施飲泉後見制度を利用している利用者の話をし、なぜそのような状況になっているのか、法律的に、どのように支援できているのか、などを話している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約の際に、説明を尽くしている。また、法改正などで、料金などが改定する場合は、丁寧に説明している。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本年度は、特に、面会についての問い合わせに対し、要望が多かった。可能な限り、対面で面会を行ったが、難しい場合は、テレビ電話や、窓越しの面会などを行い、要望を可能な限りかなえられるように対応することができた。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の中の面会は、非常に難しいと考えるが、その中でも意見箱などを設置したり、洗濯物を取りに行く中で、話をされている。貴施設ではないが、市役所にも、面会させてくれないなどの苦情がある。また、工夫できることがあるのではないかとこの視点から、B を選択する。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は、常に、スタッフの表情を見ながら、声をかけ、意見を聞くようにしている。また、シフトなどで、希望がある場合は、要望を可能な限り聴くようにしている。代表者は、ボーナス支給の際、要望を聞くようにしている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	部会の時に、職員全体としての、モチベーションを報告することができる。個々の努力に関しては、管理者から、代表者に報告するようにしている。現在、外国人スタッフと、日本人スタッフが、半々なので、外国人スタッフに関しては、常に、表情を見ながら就労状況を観察している。表情が曇りながら働いているときには、声をかけ、目標を常に意識できるように声をかけ、日本人スタッフにもフォローできるように声掛けしている。両者ともに、資格を取得するように、働きかけている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ハラスメントについての勉強会や、休暇支援、モチベーションを挙げていく支援、資格取得など、支援ができています。また資格が手当として、支給されている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外国人スタッフも、日本人スタッフも、初任者研修に参加してもらったり、介護福祉士を目指して、勉強を頑張ってもらっている。また、資格を取得しているスタッフにも、e ラーニングや、ZOOM 研		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全員が資格取得できるように、支援している。コロナ禍の中で、おんラインが活用できるようになり、良かった。

				修などに参加してもらい、ケアに生かせるように、支援している。			
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている ◎ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本年度より、ZOOMを通して、びっきょん会が開かれるようになり、その際に、BCPの件を相談したり、認知症ケアの相談をすることになったが、まだ、2回しか行えていない。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている ◎ B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一緒にメニューから考え、料理を作ったり、掃除や洗濯、また、利用者の方のお世話などを一緒に行い、暮らしを共にする者同士が仲良く過ごせるような雰囲気作りができている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている ◎ C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現状、コロナウイルス感染予防のため、家族以外の交流を可能な限り、制限しており、外出なども、制限しているため、十分にできているとは言えない。しかし、感染が収まっているときには、外出し、なじみの場所に行けるよう支援している。			

Ⅱ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スタッフ全員で、利用者の言葉を聴こうと、努力している。意向が聞かれた場合は、できるだけ、かなえられるようにし、会議などで、意見が出されるようにしている。また、りょうりなど			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	電話や、面会時に、また、必要ときには本人と一緒に、介護計画について話し合っている。遠方の家族については、メールなどを使用し、情報を伝え、計画について説明を行っている。現在できる精一杯を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	記録として残されていると思うので、次回は、資料を提示してほしい
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	24時間記録表(認知症・体調不良)認知症の状態のみの記録、通常の記録、と、いろいろな種類の記録用紙があり、情報を共有できている。また、会議の時にも、スタッフから、この用紙を使用して記録をした方が、いいとの提案が出てきている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	記録などの評価が活かされている
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	洗濯物は、外注か、持ち帰りというルールがあるが、家族と本人から、洗濯物を自分で管理したいというニーズがあり、家族から、洗剤を預かり、一緒に洗濯をし、干し、取り込み、たたむという一連の家事を行うことにした。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	帰宅したいという気持ちが強い利用者の自宅を訪問した際、その方の近所の方が、とりなしてくださるということが何度かあった。また、地域の方が、施設外を歩いているということを電話で教えてくださるということがあり、安全に過ごせている。			
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	可能な限り、本人が入所前に利用していた病院に受診するようにしている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	可能な限り早く、サマリーなどを持っていき、連携できるようにしている。また、退院時カンファレンスにも参加し、退院後の生活が安全に送れるように支援している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	病院等と連携ができていれば、問題はないと思います。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年1回4月～5月に終末期についての話し合いを行うようにしている。考えられないという家族にも準備ができるようにしている。実際に、終末期には、病院との協力ができている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	家族や、本人の意見を聞かれているので、十分できていると思われる。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年に1回応急手当の練習を行っていたが、コロナ禍の中、行うことができていない。先輩たちからの指導で実際の場面を乗り越えることができています			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	火災、地震などの避難想定練習を年2回行い、毎月の会議の時に、イメージ訓練などを行っているが、もたついている部分がある。また、何か起こった時に、近所のスタッフが駆けつけることができる体制を作っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	消防立ち入りがむずかしい時期だが、改正により、地域との連携をとるようになったとある。消防団の自警団が参加されている事例もあるので、消防団への依頼があれば協力できるので依頼してください。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	会議の時に、一人ひとりの人格を損ねないようなことばかけや対応をしていないか、勉強会を行っている。また、スタッフトイレに、声掛けについての啓発標語を掲示し、意識するようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	人権損z法は、シビアなことと、かんがえられるが、取り組みとしては、頑張っておられるので、A評価でよい。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	基本的な、一日の流れ、1週間の流れはあるが、本人がやりたいことができるように、支援している。例えば入浴日に、散歩に行きたいといわれる方がおられたら、可能な範囲、取り入れている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	栄養の視点から、毎日は難しいが、利用者の作りたいものを料理雑誌を購入して、一緒に考え、月2回程度を目標に、一緒に作っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎回の活動報告写真で、じゅうぶんにできているとかがえられる。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	水分量は、一日に1000CC以上飲むことができるように、声掛け、している。食事量が低下したときには、栄養補助食品を取り入れ、すぐに対応している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	提携している歯科にひと月2回来ていただき、口腔ケア指導を受けている。また、毎日朝、昼、夕、3回食後の口腔ケアを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	歯科往診が十分にできており、よい。努力されている。歯科医にアドバイスを受けるのはよいことである。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	失禁が少ない人に関しては、リハビリパンツから布パンツに変更した。また、可能な限り、トイレで排泄できるように、時間誘導したり、排泄パターンを研究して、その時間に排泄できるように誘導している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援に向けたことがされ知恵と思う。十分にできていると思われる。

32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴前後の異変に気付けるように、日中の入浴を行っているが、利用者の方からは、不満はない。季節のお風呂を楽しめるように、パラ湯にしてみたり、ゆず湯にしてみたりしている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	なるべく、日中の活動を促し、生活リズムを遠の得るようにしている。また、体を横にして、過ごしたい人、ソファでゆっくりしたい人などいろいろなので、そのようにしている。			
34	服薬支援	一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬の変更があった場合には、業務日誌に詳細に記録するようにしている。また、服薬ファイルを作成し、いつでも、見ることができるようにしている。		Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議の事故報告に、ミスがあったとの報告があったが、誤薬にまでは至らなかったもので、十分なシステム作りができていると思う
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	農家の方が多いので、農作物ができた時に、一緒に収穫したり、選別したり、加工したりしている。また、その後、加工の際には、料理と一緒に楽しむことで、それぞれの得意分野を発揮できるように支援している。			
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できる範囲で、本人が希望する場所に行けるように家族と協力している。例えば、買い物に行きたい、マッサージ屋さんに行きたい、家に帰りたいなど。それぞれの利用者の家族と相談し、また、コロナの感染状況を鑑みながら、対応できるように支援している。			
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ⓐ. ほとんどできていない	何度か、お金をもってもらったりしたが、混乱することが多く、また、金銭を使用した後、「なくなった」「〇〇さんに貸した」と、いわれ、トラブルが発生したため、もたせないようにしている。しかし、買い物の際には、小口現金を通して、スタッフと一緒にお金を支払っている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	手紙が来た際には、一緒に読むようにしている。また、テレビ電話や、実際の電話などを取り次ぎ、耳が遠く対応が難しい場合は、中継を行っている。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	廊下、玄関ホール、居間などに、季節の飾りや、花、小さなテーブルを置き、ゆっくりと過ごせるようにしている。共用の空間も、時間や、日にちがわかるような工夫をしている。居室や、トイレには、表札を作り、わかるようにしている。		ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に合わせた装飾などは、コロナ禍でひつよう。これができるので、十分にできていると思われる。

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)						
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者にあわせて、声掛けの工夫をしたり、表情を確認しながら、ケアを行っている。ケアを行っている。 食事の場所、レクなど		
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の中、なかなか行きたいところに行ったり、会いたい人に会うことは難しいが、電話をかけたり、思い出話をするなどで対応している。		
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎日、バイタルサインチェックを行い、月1回受診か、往診を行っている。コロナ禍の中では、毎日3回体温測定をして、健康を確認している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ここは「本人が」どう思っているかを聞く項目であるが、今回は、施設からの回答となっている。今回は、施設からの回答を許可するが、次年度は、本人から聞くように。本人から聞くように。本人から聞くように。福祉用具なども定期的に点検されており、Aでよいと思う。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ゆっくりと晩酌を楽しんだり、自分の持ってきた、お位牌などにお祈りをしてから、朝起きてくるなど、自分のペースで過ごされている。		
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	タンス、お気に入りの衣類など、自分が使っていた物を持ち込んで、生活されている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	面会も、ガラス越しにできている。ガラス越しにできている。なじみの物も持ってこられているので、Aでよいとおもう。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で、外部との接触は、我慢していた抱いているが、感染者が少ない場合は、できるだけ外食しないで過ごしてほしい旨伝え、外出している。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自分は、むかし、食堂で働いていた、昔、農家で働いていた、何でも仕事がしたい。などの訴えから、たくさん仕事ができるように支援している。		
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	レクリエーションや、日々の生活の中での活動を通し、それぞれの方たちが、仲間外れになったりせず、おしゃべりしながら、笑顔で過ごしている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	孤立されている方もいるが、その方々にも、交流の場を提供し続けているということで、今後も続けていってほしい。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の中でも、その人が、一人で外出をしたりしていると、施設に電話をくださったりしてくださり、つながりが保たれている。こちらからも、あいさつに伺っている。		

49	総合	<p>本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている</p>	<p>A. 十分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>コロナ禍の中で、でいることは限られていると思われるが、その中でも、その人らしさを尊重した生活を支援することができるのではないかと考える 感染が落ち着いたら、地域の日糸との交流などももっと行っていけるようにしたい</p>		<p>A. 十分にできている  <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている  C. あまりできていない  D. ほとんどできていない</p>	<p>オンラインで、地域の子供たちと交流したりできるではないか？  評価項目は、自己評価通り、B とする。</p>
----	----	---	--	--	--	--	---